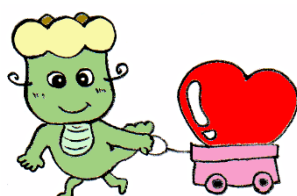


令和5年度事業報告書（案）



社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会

【総括報告】

令和2年から感染の広がりをみせていた新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが令和5年5月に2類から5類に移行されました。新型コロナウイルス感染症が収束したわけではありませんが、社会経済活動がコロナ禍前に戻りつつあります。

本会では、6月に役員改選があり、新たな役員体制のもとでスタートしました。

また、役場から事務局次長の職員派遣1名（兼務）があり、役場との連携を深めつつ事業を推進しました。

特に、令和4年度に行政と協働して策定しました「竜王町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の初年度として計画に基づき事業に取り組みました。

この計画では、地域における支えあいの仕組みづくりを目標の1つとして掲げています。

竜王町では、小地域における見守りや支えあいの福祉活動を推進する組織として自治会単位の福祉委員会を平成6年頃から組織し、地域福祉活動を住民のみなさんと推進してきました。

しかし、高齢化や人口減少により将来的にこれまでの福祉委員会活動を行っていくことが困難になる可能性があることから福祉委員会推進会議を開催し、これからの地域福祉活動を推進するための話し合いの場を設けました。

このなかでは、福祉委員会の組織体制や福祉委員会の活動等について地域の皆さんとともに意見を出し合い検討しました。

このことをもとにして、令和6年度以降の小地域福祉活動支援を進めていきたいと考えています。

能登半島では、令和5年5月5日、令和6年1月1日と相次いで大きな地震があり、特に1月の地震では甚大な被害が発生しました。

本会では、3月に社会福祉協議会近畿ブロックの職員応援派遣で1名を七尾市災害ボランティアセンターに派遣しました。

また、これまで本会は介護保険法による訪問介護サービスおよび障害者総合支援法による居宅介護サービスを実施してきましたが、職員確保の困難さからそれぞれの事業を休止しました。利用者、関係者の皆様にお詫び申し上げます。

この報告書において、令和5年度の活動を振り返り、成果や課題を明らかにし、令和6年度につなげていきたいと思っております。

【重点的取り組み】

1. 地域福祉活動計画の推進

毎年作成する社会福祉協議会の事業計画について、地域福祉活動計画に沿って構成を再編しました。活動計画をより具体的に進めるための行動計画の作成には至りませんでした。

2. これからの小地域福祉活動を考える取り組み

区長経験者、民生委員児童委員、地区での福祉活動実践者、および未来創造課や福祉課の行政職員を委員とした福祉委員会推進会議を5回開催しました。

これからの小地域福祉活動を進める地域の基盤としての福祉委員会の考え方を整理し、「福祉委員会活動の手引き」を改編しました。

3. 見守りのネットワークの推進（気かけあう会議の開催支援）

研修会や各地区での福祉委員会で話し合いの場の必要性などを訴えてきました。

また、各地区での見守りネットワークが推進されるよう、各地区での福祉委員会や研修会に参加し、取り組み内容の把握などを行いました。

4. フードドライブの推進

今年度からフードドライブを本格的に実施しました。関係団体や行政の担当課とフード集めやフードの配布、食糧支援などを連携して行いました。また、生きづらさを抱えている人たちにフードドライブ事業に協力いただく中で、社会参加支援を行いました。

5. 人材育成（体制づくり）

他の社協事務局長や厚労省の地域力強化検討会員等を歴任された方に、スーパーバイズを依頼しました。月に1回程度、計10回、管理職との会議および地域福祉推進グループの会議への出席を通して、社協組織の運営や地域福祉の推進にかかるアドバイスをいただきました。受けたアドバイスを業務実践に反映し、生かすことができました。

【事業実施報告】

I 法人運営グループ

1. 法人組織・事務局機能の強化

民間の社会福祉法人として、次の会議を開催し、透明性のある法人運営に努めました。

■法人運営機能の充実

(1) 理事会

開催日	議事内容
令和5年 6月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ② 令和4年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ③ 令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計補正予算の承認について ④ 福祉のまちづくり運動推進地区助成金交付要綱の一部改正について ⑤ 第25期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事候補者の推薦について ⑥ 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ⑦ 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任・解任委員選任にかかる同意について ⑧ 令和5年度定時評議員会の日程および内容について
6月 29日	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会長、副会長および常務理事の選出について
7月 25日	<ul style="list-style-type: none"> ① 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会善意銀行運営要綱」の一部改正について ② 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員旅費規程」の一部改正について ③ 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員旅費に関する細則」の一部改正について ④ 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の旅費支給に関する取扱内規」の一部改正について
9月 22日	<ul style="list-style-type: none"> ① 訪問介護事業、居宅介護事業および一般乗用旅客自動車運送事業の事業廃止について ② 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款」の一部改正について ③ 令和5年度第2回評議員会の日程および内容について
11月 17日	① 電子取引データの訂正および削除の防止に関する事務処理

	規程について
12月 15日	①一時預かり事業の実施について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款の一部変更について ③令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第2次補正予算の同意について ④令和5年度第3回評議員会の日程および内容について
令和6年 1月 30日	(会長専決に係る報告) ①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程 ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会労務職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部を改正する規程
3月 14日	①令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計第3次補正予算について ②竜王町社会福祉協議会経理規程の改正について ③竜王町社会福祉協議会組織および運営に関する規程の改正について ④竜王町社会福祉協議会部会に関する設置要綱の改正について ⑤竜王町社会福祉協議会心配ごと相談所設置要綱の改正について ⑥令和6年度竜王町社会福祉協議会事業計画について ⑦令和6年度竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ⑧事務局長の選任について ⑨役員等賠償責任保険の加入およびこれに伴う保険料負担について ⑩令和5年度第4回評議員会の日程、場所および議題の承認について

(2) 評議員会

開催日	議事内容
令和5年 6月 29日	① 令和4年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ② 令和4年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会協議会会計決算の承認について ③ 令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第1次補正予算の承認について ④ 第25期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事の承認について
10月 10日	(報告事項のみ) ① 訪問介護事業、居宅介護事業の事業休止について

	②一般会費の収納状況および賛助会費の協力について
令和6年 1月11日	① 一時預かり事業の実施について ② 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款の一部変更について ③ 令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第2次補正予算の承認について
3月26日	① 令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計第3次補正予算について ② 令和6年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画について ③ 令和6年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ④ 令和6年度竜王町社会福祉協議会理事および監事の報酬額（総額）について

(3) 監事会

開催日	内容
令和5年 5月26日	令和4年度社会福祉協議会事業執行状況および会計の監査

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	内容
令和5年 6月9日	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員（補欠）の選任について

(5) 会長・副会長等三役会議

開催日	内容
令和5年 4月21日	理事・監事の改選について
6月2日	① 令和5年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会補正予算について ② 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会役員（理事・監事）候補者について ③ 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任候補者について ④ 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑤ 竜王町共同募金委員会審査委員会委員の候補者について ⑥ 善意銀行の払出について

7月20日	① 善意銀行運営要綱の改正について ② 職員旅費規定等の改正について
9月15日	① 社会福祉協議会訪問介護事業、居宅介護事業の事業廃止について ② 社会福祉協議会定款の一部改正について
10月23日	① 令和6年度社協事務局体制について ② 竜王町一時預かり事業の委託について ③ ふれあいプラザ（鶉川・弓削・鏡）指定管理の更新について
令和6年 1月24日	① 役員報告事項について ② 令和6年度事業・組織体制について
3月12日	① 第8回役員会議案事項の確認について ② 令和6年度事務局組織について

（6）財務・労務管理

税理士および社会保険労務士と委託契約を締結し、指導、助言を受け、適正な財務執行に努めました。

■部会・委員会機能の充実、強化

（1）法人運営部会

三役会議、進捗会議や理事会において対応したため実施していません。

（2）地域福祉推進部会

地域福祉推進部会では、気かけあう会議について、各地区への進め方、また福祉委員会活動の手引きの記載の仕方等の協議を行いました。

開催日	内容
令和6年 3月21日	① 第4期地域福祉活動計画の進捗報告について ② 地域福祉活動計画 概要版の作成について ③ 福祉委員会活動の手引きの作成について

（3）在宅福祉事業部会

令和5年度は実施していません。

（4）広報部会

開催日	内容
令和5年 4月5日	福祉りゅうおう NO.140号（5月発行）について検討
7月7日	福祉りゅうおう NO.141号（8月発行）について検討
10月6日	福祉りゅうおう NO.142号（11月発行）について検討
令和6年 1月9日	福祉りゅうおう NO.143号（2月発行）について検討

■役職員研修会の実施

(1) 役員研修

会長が、トップセミナーや社協会長会での研修に参加しました。

(2) 職員内部研修会の実施

開催日	内容
令和6年 2月21日	人権研修

(3) 局内会議の実施

開催頻度	会議名称
2週に1回	進捗会議（部門間連携を行い、情報共有と進捗状況の把握）
月2回程度	地域シェア会議（地域福祉事業の運営協議）
毎月1回	ヘルパー会議（訪問介護事業の運営協議）（令和5年12月迄）
毎月1回	こどもひろばスタッフ会議（こどもひろばの運営協議）
毎月1回	生涯現役事業内部会議
毎月1回	地域福祉権利擁護事業内部会議

(4) 研修会への参加

7月13日	滋賀県内社会福祉協議会新任職員研修&接遇研修
8月17日 8月24日	キャリアデザイン研修（チームリーダー）
11月13日	子ども食堂等研修会・交流会
11月29日	竜王町人権啓発セミナー「女性の人権」
12月13日	中間マネージャー研修
1月27日	竜王町じんけんを考えるみんなつどい
2月13日	滋賀県内社会福祉協議会第2回新任職員研修

2. 安定した事業財源の確保

■会員・会費の充実

(1) 一般会員の加入促進

会費の趣旨説明、会員募集の周知および会費徴収について、各自治会長宅を訪問してお願いし、自治会の協力のもと、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指しました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般会費（世帯1,000円）	1,174,472円	1,288,994円	1,318,365円

(2) 賛助会員・特別会員の加入促進

企業、商店、個人の皆様に対し、訪問などにより協力依頼を行いました。

令和5年度は、新規会員の募集を積極的に行う予定をしていましたが、新規依頼先の確認作業にとどまり、訪問ができず、新規会員の加入が1件のみとなりました。

		令和5年度	令和4年度	令和3年度
賛助会員 (2,000円以上)	企業・商店	92件(224,000円)	94件(221,000円)	106件(243,000円)
	個人	38件(90,000円)	33件(85,000円)	29件(74,000円)
特別会員 (10,000円以上)	企業・商店	33件(390,000円)	32件(370,000円)	36件(515,000円)
	個人	11件(110,000円)	10件(110,000円)	10件(100,000円)
合 計		814,000円	786,000円	932,000円

令和5年度新規会員：1企業（特別会員）

■事業財源の確保

(1) 助成金の活用

活用実績なし。

(2) 広報広告の活用

令和5年度実施なし。

■善意銀行の管理・運営

(1) 善意銀行運営委員会

寄附金（物品）の管理と目的に沿った用途および必要時の地域福祉推進活動者への預託金払い出しのための審議を行いました。

開催日	内容
令和5年 7月18日	・ 経理状況の報告 ・ 暮らし育て組 施設設備設置に伴う助成金申請に関する審査
令和6年 2月9日	・ 幸せ受け愛隊 ボランティア立ち上げに伴う助成金申請に関する審査

(2) 災害時等の支援に要する費用の管理

災害時に備えた費用の準備と必要時の活用のため、寄附の一部を継続的に預金、管理しています。

Ⅱ 地域福祉推進グループ

1. 地域福祉活動計画の進捗管理

(1) 地域福祉活動計画行動計画の作成

毎年作成する社会福祉協議会の事業計画について、地域福祉活動計画に沿って構成を再編しました。活動計画をより具体的に進めるための行動計画の作成には至りませんでした。

(2) 地域福祉活動計画の進行管理

社会福祉協議会が主体となる取組については、本計画に基づいて事業や活動を実施し、地域福祉推進部会において進行管理を行いました。また、行政の地域福祉計画推進委員会とも連携して、活動計画の評価を行いました。

開催日	内容
令和6年3月21日	地域福祉推進部会
3月27日	地域福祉計画推進委員会

2. 地域福祉活動計画の推進

1. であいとわかちあいで風土づくり

(1) 共生の心を育む学びの場づくり

児童に対する福祉学習の支援を行い、また、プチどら★にここプロジェクトを再開しました。将来、子どもたちが大きくなった時に福祉への関心をもてるきっかけづくりとして実施しました。

① 人権理解・男女共同参画のための学習・啓発

- ・福祉委員会等で性別や世代にとらわれず参画を進めるための研修の開催
竜王町人権教育推進協議会に参画して、人権啓発を行いました。

② 属性を超えて共に生きるための学習・啓発

- ・福祉学習の推進

町内の小学校に対し、福祉体験の指導や講義などの総合学習などにおける支援を行いました。令和5年度は、中学校での福祉学習は実施できませんでしたが、引き続き、町内の小中学校で地域福祉に視点を置いた福祉学習に取り組んでいきます。

< 竜王小学校 >

実施日	内 容
-----	-----

令和5年 9月28日	車いす体験
10月 3日	視覚障がいに関する学習・点字体験
10月16日	高齢に関する学習・高齢者疑似体験
10月31日	聴覚障がいに関する学習・手話体験

< 竜王西小学校 >

実施日	内 容
令和5年 6月21日	車いす体験
9月 6日	視覚障がいに関する学習・点字体験
10月17日	高齢に関する学習・高齢者疑似体験
10月31日	聴覚障がいに関する学習・手話体験

・プチどら★にこにこプロジェクトの実施

こどもひろば「おさんぽデー」の一環で、9組の親子とグループホームを訪問しました。引き続き、福祉の心を育む一つの機会として事業を実施していきます。

(2) 多様な関わりを増やすしかけづくり

見守り活動をキーワードとしたネットワークづくりに向けて、各団体等の状況把握を行いました。

コロナ禍を経て、これからの住民福祉活動を推進するため、福祉委員会推進会議を立ち上げ、地区福祉委員会の考え方の整理を行いました。

関係団体や行政等と連携しながらフードドライブ事業を実施してネットワークづくりをすすめ、個別課題の支援につなげました。

①多様な地域活動のあり方の協議・提案

・ALL 竜王見守りあいプロジェクトの開催

住民、企業や団体および行政が連携し、見守りを軸としたネットワークづくりを推進するものです。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことで地域や団体の活動が再開し始めた年であり、地域・団体の取り組み支援と状況把握を重点的に行いました。次年度は令和5年度の地域状況を基に、町域での取り組みを推進していきます。

・これからの住民福祉活動推進会議の実施

区長経験者、民生委員児童委員、地区での福祉活動実践者、および未来創造課や福祉課の行政職員を委員とした福祉委員会推進会議を立ち上げ、各地区福祉委

員会活動の現状把握と課題を整理し、福祉委員会のあり方について検討しました。
 また、平成6年度からの福祉委員会活動の手引きを見直し、これからの時代に沿った内容に改変しました。

実施日	内容
令和5年 9月26日	福祉委員会の組織体制について
10月25日	福祉委員会の活動について
11月29日	福祉委員会の話し合いの場について
12月27日	福祉委員会と専門機関との連携について
令和6年 1月24日	総括

②身近な圏域におけるネットワークづくり

- ・生活困窮者支援のためのネットワークづくり

フードバンク滋賀等の関係団体から協力を得て、生活困窮者への食糧支援を実施しました。

また、子ども食堂への食材等の提供などを行い、課題のある家庭など個別の情報を健康推進課等行政担当課に共有するなどの連携支援を行いました。

③地域活動を促すコーディネート機能の拡充

- ・ボランティア活動の啓発と参加のコーディネート

<ボランティア活動相談、ボランティア登録、連絡調整機能>

日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行いました。ボランティアの依頼数は、地域でのイベント等の再開により、増加しました。

相談内容	ボランティア派遣	福祉教育	その他
令和5年度	28件	18件	78件
令和4年度	7件	16件	34件
令和3年度	13件	28件	17件

<ボランティア活動保険の対応>

加入申し込みの対応を実施しました。また、安心してボランティア活動ができるよう、年度末に登録ボランティアへ次年度更新に関する案内などをしました。

	活動保険	行幸用保険
令和5年度	689人	16件
令和4年度	756人	8件
令和3年度	778人	1件

< ボランティア活動への啓発・情報提供 >

ボランティア団体の交流を目的とした交流会や新たなボランティア活動への啓発としておもちゃの病院を開催しました。

また、活動啓発として社協掲示板や階段踊り場やホームページを活用し、ボランティア情報を提供しました。その他にも、年4回発行の「福祉りゅうおう」に「ぼらんていあ通信」を掲載しました。

実施日	内 容	参加人数
1月19日	ボランティア交流会 ・ボランティアグループ「笑い福ろはっぴーず」さんの発表	14人
3月27日	おもちゃの病院	23組

・社協の地域福祉人材育成

外部のスーパーバイザーをお願いし、月に1回程度、計10回来所いただいて、地域福祉の推進にかかるアドバイスを受けました。

福祉委員会活動の手引きの見直しを通して、地域アセスメントの視点の持ち方などを学ぶことができました。

令和6年度も引き続き同じ方にスーパーバイズをお願いし、更に実践力を高めていきます。

2. お互い様の支えあいで仕組みづくり

(1) 多様な交流の場づくり

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、地区福祉委員会や団体が行う集いの場の再開に向けた支援を行いました。各福祉委員会等の自主的な取組もあり、活動の再開がすすみました。

① 多世代が交流する場の推進

・コミュニティカフェ、オンラインカフェの推進

コロナ禍で中止していた多世代が交流できるコミュニティカフェの再開に向け、広報等で各地区の取り組みを紹介し、29か所でコミュニティカフェが開催されました。また、コミュニティカフェ以外の事業で多世代交流を図る地域も増え、多様な交流の場が広がっています。

・多世代交流を図る子ども食堂等の推進

町内では2地区で開催され、子ども達だけでなく、地域の様々な住民の居場所として開催されています。

② 同じ悩みを持つ人が集まり、語る場づくり

・竜王町こどもひろばの開催 [詳細は P.23、24]

子育てお悩み相談会や楽しい子育て講座を開催し、助産師や町担当課職員と話す機会を設け、子育て中の悩みを解消できる機会を設けました。また、学年別ひろばやこどもひろばにおいて、子育て中の親子の仲間づくりを行いました。こどもひろばスタッフも定期的に声をかけ、相談しやすい環境づくりを行いました。

- ・当事者団体との協働や参加のコーディネート

子育て支援団体や介護に関するカフェに参加し、活動把握を行いました。また、広報で当事者団体の紹介を行いました。

③ テーマでつながる場づくり

- ・テーマ別地域福祉活動情報交換会

子育て支援を行う団体等の情報交換会に参加し、社協と各種団体や団体間での連携がより一層進むよう、お互いに顔の見える関係づくりに取り組みました。また、情報交換だけでなく、各種団体の活動に参加し、社協との関係強化を図りました。

(2) 地域での支えあいの仕組みづくり

見守り訪問活動や支えあい活動なども、コロナ禍以前の状況に戻りつつあります。福祉委員への支援やレク用品等の貸し出しなどの活動支援を行い、地域活動の充実を図りました。また、将来を見据え、これからの住民福祉活動の展開を図れるよう、地域訪問や研修会を実施しました。

① 地域の中の困りごとを共有する仕組みづくりの推進

- ・気にかけてあう会議の開催支援

地域での暮らしが心配と思われる事や気にかけてあげていることを話し合うなど地域で相談する場を作る取組みを行っています。会議の場の開催に向けて、各地区の福祉関係者などを中心に話し合いや共有の場の大切さを伝えました。今後、各地区での場の開催に向けた支援を行っていきます。

- ・自治会域の活動では解決できない課題について、自治会域を超えて実施する仕組みの検討

まずは、竜王町の各地区での福祉活動について改めて考える場として福祉委員会推進会議を開催しました。自治会域を超えた活動については、分野を定めるなど、福祉委員会推進会議でも検討しながら、進めていきます。

② 日ごろの見守り活動の推進

- ・福祉委員会や住民同士の見守り・支えあい活動の推進

<福祉関係三者研修会>

各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、民生委員児童委員、福祉委員の方々をはじめとする福祉委員構成員が協力して取り組みを進められるよう、

三者を対象とした研修会を開催しました。

開催日	内 容
令和5年 6月 17日	「地域社会における福祉委員会の役割とは」 講師：ローカリズムラボ 井岡氏

<タブレット使い方説明会>

令和4年度より福祉委員にタブレットの貸与を行い、社協からの情報発信や福祉委員間の情報共有ツールとして活用し、連携が密になるよう取り組みました。タブレット活用については、使い方講習会なども併せて行いました。

開催日	参加者	開催日	参加者
5月 12日	7人	5月 20日	7人
5月 18日	4人	個別対応	14人

<ブロック別懇談会>

「お互い様の支えあいについてー地域福祉活動計画からー」をテーマに、昨年度策定した竜王町地域福祉計画および地域福祉活動計画の進捗と、支えあえるしくみづくりについてお互いに共有する機会として開催しました。グループ懇談では、「地域の活動とそのつながり・関わり」について自治会ごとに検討しました。

開催日	参加地区
12月 8日	西出・東出・西山・新村・山中・岡屋・さくら団地・小口・薬師・松が丘
12月 12日	岩井・川守・田中・林・庄・信濃・橋本・川上・弓削・駕輿丁・島・綾戸
12月 15日	鶺鴒川・七里・須恵・山面・西川・西横関・鏡・美松台・松陽台・希望が丘

<各地区での研修会や福祉委員会など話し合いの場への参加・支援>

各地区で開催される福祉委員会などに社協職員が講師として参加、活動事例や活動時のポイントなどを紹介し、地域での取組の推進を支援しました。

また、福祉委員会等にも参加し、地区活動の状況や課題の把握を行いました。

職員参加件数：12件

(見守りや支えあいをテーマとした地区数：4地区)

・見守りを兼ねた一人暮らし高齢者配食事業の実施

ボランティアや町内商店の協力により年5回、季節ごとのお弁当を作っていたが、民生委員児童委員による各お宅への配食を通じて一人暮らし高齢者の見守り活動を実施しました。

また、民生委員児童委員から見守り状況の報告を受け、地域包括支援センターと情報共有を行い、一人暮らし高齢者の支援等について確認しました。

実施日	内 容	対象者
-----	-----	-----

6月10日	・お弁当のお届け（調理協力：八幡屋）	83人
9月9日	・お弁当のお届け（調理協力：魚英） ・100人文通プロジェクト	81人
11月11日	・お弁当のお届け（調理協力：赤十字奉仕団）	80人
1月13日	・お弁当のお届け（調理協力：赤十字奉仕団） ・100人文通プロジェクト	81人
3月9日	・お弁当のお届け（調理協力：赤十字奉仕団） ・いつまでも元気クラブからペットボトルホルダーのプレゼント	75人

・コミュニティカフェなど集いの場の開催の支援

各地区で取り組まれている住民主体の活動が推進されるよう各地区の取り組みを紹介するとともに活動者が繋がり、連携をとりながら支援を行いました。身近な地域での福祉活動の重要性が高まっており、支援していきます。

<地域での取組状況>

コミュニティカフェ（対象を限定しない集いの場）	21か所
サロン（対象を限定した集いの場）	18か所
おたっしや教室	17か所

<訪問実績・相談対応実績>

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
訪問実績合計	144件	88件	54件
地域福祉活動に関する相談	477件	350件	100件

<地域福祉活動に関する相談内容>

相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
通いの場の取組	119件	子ども食堂	15件
訪問活動	20件	近助事業	3件
地域の会議	19件	福祉学習	11件
研修等	10件	その他	280件

<物品貸し出し>

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
レク用品貸出	60件	31件	19件
イベント用品貸出	16件	4件	2件
鉄板一式	—	1件	—
かき氷機	4件	1件	—
ポップコーン機	6件	—	—
綿菓子機	6件	2件	2件

紅白幕	8件（34枚）	4件（17枚）	3件（16枚）
-----	---------	---------	---------

③安全な暮らしを守る地域づくり

・災害を見据えた「近助事業」の実施

大規模災害時等の避難行動支援などを見据えた、日頃からの近所の関係づくりを進める「近助」体制づくりを小地域福祉活動の柱として推進しました。

・災害ボランティア活動の仕組みの整備や講座の実施

社協職員による災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しました。

設置運営訓練を通して、必要な人材や人員数、資機材の現状確認および不足分の確認を行いました。また、訓練の振り返りを行い、不足分の埋め方について協議を行いました。

開催日：令和6年3月30日（土）

場 所：福祉ステーション・保健センター前駐車場等

・令和6年能登半島地震 七尾市災害ボランティアセンター運営支援

近畿ブロック社協の滋賀県チームに参加し、令和6年3月16日から3月24日の期間、七尾市災害ボランティアセンターに職員1名を派遣しました。運営支援では、ニーズ班の現地調査にあたり、災害廃棄物の確認や依頼内容に対する支援の必要性の確認等を行いました。

現地調査を行う中で、避難後の暮らしのことや家屋損壊の判定についてなど、被災者から様々な話や思いを聞き取りました。

3. 多機関の重なりあいで体制づくり

(1) 相談・情報提供体制の充実

行政が構築する総合相談の体制に参画し、専門職等との連携の強化をすすめました。また、適宜、行政職員と一緒に相談対応を行い、複合的な課題解決におけた支援を行いました。

インターネットやSNSなどの受け手が情報を得やすい手段を活用し、タイムリーな情報発信を実施しました。

①不安や悩みを受け止める相談体制の確保

・心配ごと相談の実施

住民の身近な相談窓口として、民生委員児童委員、行政相談員、人権擁護委員を相談員として毎月3回心配ごと相談所を開設しました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	13件	13件	13件

〈相談内容〉（相談来所数1つにつき、複数内容の相談あり）

相続・贈与：5件、親族・家族トラブル：2件、土地・不動産：1件、
近隣関係：1件、制度説明：5件、税務・税金：1件

〈紹介先〉

行政… 6 件(教育委員会・建設計画課・住民課・税務課…各 1 件、生活安全課 2 件)、社協… 2 件、弁護士無料法律相談会… 2 件、行政なんでも相談所… 2 件

・ 弁護士無料相談会の実施

年 4 回 (6 月、9 月、12 月、3 月)、弁護士による無料法律相談会を実施しました。

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
相談件数	13 件	12 件	11 件

(12/15：キャンセル待ち 1 件)

〈相談内容〉(相談来所数 1 つにつき、複数内容の相談あり)

相続・相続・贈与：5 件、親族・家族トラブル：4 件、離婚問題：6 件、金銭貸借：1 件、契約トラブル：2 件、土地・不動産関係：2 件、損害賠償：1 件であった。(キャンセル者の相談も含む)

・ 社協事業や地域活動で把握された情報を行政と共有

毎月、町行政が主催する重層的支援会議、精神ケア会議およびひきこもり支援検討会議等に参画し、社協の事業や活動で得た個別の課題情報等の共有を行いました。

・ 生活困窮者への相談体制の充実

〈生活困窮者自立相談支援事業〉

生活に困窮されている方の自立を促進することを目的として、滋賀県から委託を受け、自立相談支援事業の相談窓口として事業を実施しました。

また、フードドライブを活用した食糧支援を行いながら、相談者の自立に向けた支援を行いました。

〈相談受付〉

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
新規相談件数	4 件	8 件	17 件
情報提供や相談対応で終了した件数	4 件	8 件	2 件
他の制度や専門機関へつないだ件数	0 件	0 件	0 件
支援の同意に向けて対応中の件数	0 件	0 件	0 件
総合支援資金特例貸付の対応した件数	0 件	0 件	15 件

〈支援計画に基づく支援〉

相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ、個人の状態にあった支援計画の作成を行う体制をとりましたが、計画作成には至らず、生活保護の申請をされることが多い状況でした。

本制度での対応が難しい状況になるまで相談ができず、より厳しい状況にいたってから来所される方も多く、住民や関係機関への事業周知を行い、早い段階で潜在化している相談者に繋がっていく必要があります。そのためには、アウトリーチも課題となります。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
支援計画に基づく支援件数	0件	0件	1件
新規支援計画作成件数	0件	0件	1件
支援計画に基づく支援終了件数	0件	0件	1件

(支援終了にあたっては、自立した生活を継続できるよう他制度等による継続支援を実施)

〈支援調整会議への出席〉

ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携を行いました。

令和5年 4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談対応状況 ・相談内容の報告、支援の方向性の検討 ・支援機関の既存の制度や新規制度の情報共有
7月19日	

〈生活福祉資金貸付事業〉

滋賀県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業の相談窓口として事業を実施しました。

総合支援資金や福祉資金などの要件に合わせた相談対応を行いました。

相談内容は、制度概要の説明や貸付要件に該当しないため他の制度につながるなどであり、いずれの相談も貸付には至りませんでした。

ダイハツ工業滋賀(竜王)工場での生産停止に伴う貸付相談は、延べ6件でした。(生産開始に伴い、相談のみで貸付には至らず。)

		令和5年度	令和4年度	令和3年度
総合支援資金	延べ相談	6件	0件	7件
	新規貸付	0件	0件	0件
福祉資金	延べ相談	14件	10件	3件
	新規貸付	0件	0件	0件
教育支援資金	延べ相談	2件	1件	0件
	新規貸付	0件	0件	0件
不動産担保型生活資金	延べ相談	3件	0件	0件
	新規貸付	0件	0件	1件

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う特例貸付(令和2年3月25日~令和4年9月末で受付終了)の償還が、令和5年1月から開始されました。償還が開始される方から、順次、滋賀県社協と連携しながら「償還手続」、「償還猶予手続」、「償還免除手続」の対応や相談支援を行いました。

	令和5年度	令和4年度
特例貸付の償還に関する相談（延べ）	72件	19件
特例貸付償還猶予件数	2件	3件
特例貸付償還免除件数	8件	33件

②埋もれている悩み事への早期対応

・フードドライブ事業の実施

フードドライブの寄付BOXをふれあいプラザや町内関係施設に設置し、フードドライブを実施しました。その他にも、関係機関・フードバンク滋賀などから協力もいただき、食糧支援を実施しています。

また、健康推進課に協力いただき、子育て世帯を対象とした配布会を2回行い、フードドライブで集まったお米などをお渡しし、子育て世帯との接点づくりを実施しました。

令和5年度フードドライブによる支援世帯：4世帯

子育て世帯への配布会申込件数：7件

・集いの場参加者の悩みに早期に気づくためのスタッフ向け研修の開催

研修は開催できなかったが、社協職員が集いの場等に出向き、スタッフの方々に気づきの視点をもっていただけるような声掛けなどをしました。

③虐待・家庭内暴力の予防と対応

・民生委員児童委員の赤ちゃん訪問への協力

民生委員児童委員協議会が行う「こんにちは！赤ちゃん訪問」事業に健康推進課と社協が協働しています。

民生委員児童委員が訪問した際に聞き取った困りごとや気にかかることなどについて、各委員から事務局社協に報告を受け、情報提供や関係機関につなぐことで、乳児家庭の孤立化防止を図る機会とすることができました。

・民生委員児童委員や福祉委員への研修を通じた虐待防止の啓発

民生委員児童委員協議会で虐待に関する研修を行うなど、虐待防止の啓発を行いました。

④情報を入手しやすい環境の充実

・社協広報誌、ホームページ、SNSによる情報発信

・「福祉りゅうおう」の発行

各種事業の事業報告や案内などを掲載しました。また、各地区での取り組みを掲載し、地域福祉の推進に取り組みました。

発行月	内容
令和 5 年 5 月 1 日	NO. 1 4 0 号 社協活動への住民参加の促進と PR に努めました
8 月 1 日	NO. 1 4 1 号 //
1 1 月 1 日	NO. 1 4 2 号 //
令和 6 年 2 月 1 日	NO. 1 4 3 号 //

・こどもひろば便りの発行

こどもひろば便り「どらんちゅ」を毎月 1 回発行し、事業の近況報告やお知らせなどを行いました。

また、参加者の募集や月間の予定を掲載し、参加者の拡大を図りました。

・「いつまでも元気クラブ」だよりの発行

鏡・弓削・鶯川ふれあいプラザ等で実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの情報を「いつまでも元気クラブ」だよりにして毎月発行し、高齢者の健康維持や介護予防の活動に参加していただけるよう周知しました。

・ホームページや SNS による情報発信

令和 6 年 1 月にホームページをリニューアルし、地域福祉活動の情報発信を行うとともに、分かりやすいホームページのレイアウトにしました。

インスタグラム、フェイスブックや LINE 公式アカウント等の SNS を随時更新し、社協事業やこどもひろばの月間予定の公開・タイムリーな情報や子育て情報等の発信を行いました。

・公民館における常設展示

公民館の交竜フロアに常設の展示コーナーを設置し、事業の紹介・参加者の募集・講座の案内などを行いました。

・一人暮らし高齢者の配食サービス実施時にニュースレターの発行

配食実施時に、詐欺や交通安全、住宅防火、健康についてなどの注意喚起情報・関係機関からのお知らせ等を同封し、啓発につとめました。

・福祉委員に配布したタブレットによる情報発信や情報提供

ラインワークスを活用し、各地区福祉委員会の活動状況や活動助成のお知らせを掲載し、情報提供を行いました。各地区で、集いの場が再開され、この情報交換を通じて、各地区での取り組みのヒントとしていただくことができました。

(2) 支援を必要とする人を支える体制づくり

経済的な困窮やひきこもり等を抱えた人に対し、行政と連携して相談支援や社会参加支援または就労支援を行いました。

また、判断能力が不十分な人に対し、行政職員や専門職等との連携および制度利用を通じた支援を行いました。

① 生きづらさを抱える人たちへの支援の推進

・フードドライブ事業の実施

フードドライブ事業を活用し、支援を必要とされる方々との接点づくりを行いました。

- ・フードパントリーに取り組む団体への支援 1件
- ・子ども食堂を実施する団体や子どもの育ちを支援する団体への支援 6件

・支援を必要としている子どもを気にかけて子ども食堂の実施の支援

地域2ヶ所、町域1ヶ所の子ども食堂へ定期的に訪問し、活動や参加者の把握・支援を行いました。また、新たな子ども食堂の立ち上げ支援を行い、町域の子ども食堂が1ヶ所増えました。

- ・令和5年度 4ヶ所（地域2ヶ所・町域2ヶ所）

・就労支援（体験）の場の提供

2ヶ月に1回、ひきこもり支援検討会議に出席し、関係各課や社協が把握するひきこもりの実態や現状について情報共有し、支援連携体制の構築に向けた協議を行いました。

また、社会参加することに難しさを感じる人に対し、就労体験や社会体験の場の提供を行政と連携して行っています。

フードドライブの仕分け作業の他にも、町担当課が実施する居場所活動でのプログラムとして社会福祉大会の冊子作りなどを依頼し、活動の場を提供しました。

- ・フードドライブ等仕分け作業 13回実施／参加延べ人数15人

② 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の推進

・地域福祉権利擁護事業の実施

〈地域福祉権利擁護事業〉

認知症等高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断面に不安のある方が日常生活を安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用や行政サービスの手続きにかかる本人への同行や代行、また、日常生活にかかる費用の金銭管理、書類等の預かりを行うなど、本人の自立を支える支援を行いました。

〈令和5年度の状況〉

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
相談援助件数	325件	498件	228件	0件
新規契約件数	3件	0件	1件	0件
終了契約件数	0件	0件	0件	0件
現在契約件数	4件	10件	4件	0件

〈年度別契約件数〉

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
契約件数	18件	15件	16件

〈成年後見制度への移行支援〉

成年後見制度サポートセンターE-SORAや竜王町をはじめとする行政機関と連携を図り、地域福祉権利擁護事業利用者で成年後見制度への移行の必要性について検討を行いました。

令和5年度に移行したケース : 0件

権利擁護検討会で相談したケース : 1件

3. 仲間づくり・生きがいつくり

■各種サロン・講座の開催

(1) 生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」 [詳細はP. 29、30]

鏡、弓削、鶺川ふれあいプラザ等で概ね60歳以上の方を対象に、介護予防を目的とした趣味活動、健康維持、仲間づくり、文化活動、ボランティア活動など様々な活動を実施しました。

また、参加者を増やす取り組みとして、町内4か所で啓発のためのチラシ配布や竜王町「しるみる竜王」、「防災無線」でのお知らせを行い、新しい参加者につなげることができました。

2か月に1回福祉課と会議を持ち、取り組み状況や方向性について協議を行いながら事業を推進しました。

(2) いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）

ふれあいプラザにおいて、書道教室、編物手芸教室を実施しました。

	書道教室	編物手芸教室	合計
令和5年度	鶺川 12回 / 142人 岡屋 12回 / 71人	弓削 12回 / 47人 あえんぼ 1回 / 5人 鏡 12回 / 84人	49回 / 349人
令和4年度	鶺川 12回 / 118人 岡屋 12回 / 62人	弓削 13回 / 57人 鏡 12回 / 77人	49回 / 314人

令和3年度	鵜川 12回 / 125人 岡屋 12回 / 85人	弓削 13回 / 53人 鏡 12回 / 79人	49回 / 342人
-------	-------------------------------	-----------------------------	------------

(3) 一人暮らし高齢者支援事業

一人暮らし高齢者の方々が自宅で閉じこもり予防や、外へ出る機会を作り、楽しいひとときを過ごしていただくことを目的に開催しました。

民生委員児童委員協議会の高齢者福祉部会の方々にも参加していただき、身近に相談できる相手がいることや、身の回りの事に関する啓発なども行い、安心して一人暮らしが継続していくことができるよう支援しました。

実施日	内容	参加者
6月20日	・演芸の鑑賞やレクリエーション ・警察による詐欺の啓発 ・緊急通報システムや介護予防事業の紹介	22名
12月22日	・演芸の鑑賞やレクリエーション ・消費生活センターからの啓発チラシやグッズの配布	24名

(4) こどもひろば

未就園児とその保護者を対象に下記の内容で親子の交流や各講座を通じて子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しました。

保健センター2階において月曜日から金曜日まで週5回開催しました。

様々なイベントは10組～15組と制限し、密を避けるため鏡ふれあいプラザで行いました。

	開催日数	参加者数
令和5年度	236日	延べ6,616人（保護者2,986人 子ども3,630人）
令和4年度	235日	延べ6,299人（保護者2,943人 子ども3,356人）
令和3年度	192日	延べ5,858人（保護者2,621人 子ども3,237人） 8/27～9/30 1/31～2/18・2/28～3/4 開催中止

<活動・支援内容>

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
○自然と親しむ事業 花の水やり いちご狩り 芋ほり どんぐり拾い おさんぽデー
○親のリフレッシュ 子ども服リサイクル ベルの演奏会
○遊びの工夫（季節の遊び、作品作りなど） 【作品作り】こどもの日の制作 季節の制作（梅雨・栗など）七夕飾り どんぐり入れ クリスマス制作 鬼のお面作り おひな様

<p>【季節の遊び】砂あそび 白玉粉粘土あそび 水遊び たなばた会 クリスマス会 お正月遊び 豆まき ひな祭り会 【その他】 大きくなったね週間 おたんじょう会</p>
<p>②子育てに関する相談・支援</p>
<p>○こどもひろば開催時にスタッフによる相談 子育て世代担当者会議 ハローワーク説明会</p>
<p>③地域の子育て関連情報の提供</p>
<p>○「こどもひろばだより」の発行 ○各種セミナー等の案内 ○Instagram、フェイスブック、ホームページ、LINEの活用</p>
<p>④ 子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施</p>
<p>子育てお悩み相談室 歯のおはなし 楽しい子育てのコツ 産後の身体を整えよう 応急手当講座 交通安全のおはなし おはなしタイム ベビーマッサージ トランポピクス 親子ヨガ アレルギー講座 ミュージック・ケア 親子ふれあい遊び</p>
<p>⑤地域の子育て力を高める取り組み（異年齢との交流）</p>
<p>お話サークル「トトロ」 民生委員児童委員さんとの交流 中学生チャレンジウィーク</p>
<p>⑥子育て講習会の開催</p>
<p>開催なし</p>

〈学年別ひろば〉

鏡ふれあいプラザで0歳児、1歳児、2歳児の学年毎に親子ふれあい教室を開催しました。（4月、8月、2月、3月を除き、月に1回開催）

	ぴよぴよ（0歳児）	よちよち（1歳児）	わくわく（2歳児）
令和5年度	8回／ 251人 保護者 115人 子ども 136人	8回／ 285人 保護者 137人 子ども 148人	8回／ 152人 保護者 64人 子ども 88人
令和4年度	8回／ 215人 保護者 105人 子ども 110人	8回／ 206人 保護者 95人 子ども 111人	8回／ 170人 保護者 75人 子ども 95人
令和3年度	7回／ 206人 保護者 96人 子ども 110人	7回／ 178人 保護者 84人 子ども 94人	7回／ 157人 保護者 71人 子ども 86人

（内容）

友だちづくり ベビーマッサージ トランポピクス 親子ヨガ アレルギー講座
ミュージック・ケア 親子ふれあい遊び 絵本の講座
フォトフレーム作り おもちゃ作り 運動会ごっこ

4. 事務局運営

(1) 事務局支援

事務局の運営または運営補助を行いました。

〈社会福祉協議会が事務局業務を行っている団体〉

団体名	事務内容等
竜王町共同募金委員会	詳細は共同募金委員会事業報告等参照
日本赤十字社竜王町分区	活動資金の募集と収納事務 赤十字奉仕団との連携
竜王町遺族会	会務の運営
護国社奉賛会	護国社大祭の執行
竜王町民生委員児童委員協議会	企画委員会・定例会の開催 民児協会計処理 多機関との連携サポート

(2) 福祉団体への支援

自主的に福祉活動を行う老人クラブ連合会をはじめとする福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成し、支援を行いました。

町内の小学校、中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行うことで福祉教育の充実に努めました。

(当事者団体への支援)

視覚障害者友の会および母子福祉のぞみ会に対し、活動資金の助成や職員派遣による事業への協力を行いました。

5. その他の事業、啓発活動等の実施

(1) 共同募金運動の推進

共同募金委員会事務局として募金活動の推進、配分活動の実施や啓発活動を行いました。

要援護世帯、小地域ふれあい事業、福祉団体への事業助成を行いました。

(2) 社会を明るくする運動

社会を明るくする運動、青少年健全育成活動に協力しました。7月の強調月間には、のぼり旗、ポスターの掲示等啓発活動を推進しました。

また、町長へ内閣総理大臣メッセージ伝達を行いました。

(3) 平和祈念事業

7月29日に戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町および社会福祉協議会主催で第13回竜王町平和祈念式を開催しました。

(4) 社会福祉大会の開催

11月23日に竜王町公民館ホールにおいて社会福祉大会を開催しました。令和5年度は、式典および食をテーマにしたシンポジウムを実施し、地域で活動されている3団体に取り組み紹介や意見交換をしていただきました。

共同募金コンクールのぬりえ、ポスター、書道については、当日に掲示したほか、大会後も約1カ月間、交電フロアでの展示を継続しました。

○社会福祉協議会会長表彰 26人(団体)、感謝状の贈呈 1人

○竜王町共同募金委員会会長表彰

ぬりえ・ポスター・川柳・書道コンクール

ぬりえの部(4歳児・5歳児) ポスターの部(小学生)

書道の部(小学生) 川柳の部 各最優秀賞 優秀賞

○滋賀県共同募金委員会会長表彰の伝達 1人、感謝状の伝達 2団体

◇シンポジウム

「竜王町は、少子高齢化を“食”で乗り越える～食で地域をつなげる・支える～」

・コーディネーター(司会)：

まちづくりスポット大津 マネージャー 北井 香 様

・パネリスト：『えがおのポパイ』 大前 セツ子 様

『がもう子ども食堂まんぷく』 安井 昌角 様

『やまびこ福祉会』 島田 和典 様

Ⅲ 在宅福祉グループ

1. 在宅福祉サービスの充実

※介護サービス事業および障がい福祉サービス事業は、令和5年12月をもって休止しましたので、4月～12月の実績を令和5年度の実績として記載しています。

■介護保険サービスの実施

(1) 訪問介護事業

要介護状態の利用者の方が安心して在宅での生活が継続できるよう、身体介護、生活援助の提供を行いました。

特に一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、障がい者の地域移行が進む中、社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業等との連携を図りながら、安心して在宅生活を送れるよう提供を行いました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者(延べ)	669人	1,578人	2,026人
月平均	78人	131人	168人
福祉有償運送(78条許可)	0回	116回	122回
月平均	0回	9回	10回

※令和5年4月から福祉有償運送事業を休止しました。

社協の福祉有償運送利用者には、NPO法人外出支援ボランティアスマイルの利用と訪問介護員の同乗によるサービス提供を組み合わせた対応に移行するなど、継続した支援を確保しました。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

専門的なサービスを必要とする要支援状態の利用者の方が自立した生活を送れるよう、身体介護、生活援助の提供を一緒に行いました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者（延べ）	100人	113人	14人
月平均	11人	9人	1人

（3）介護保険外サービス事業

介護保険制度の対象サービスで対応できない方のサービス提供はありませんでした。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
提供回数	0回	12回	7回

（4）利用者負担減免の実施

介護保険サービスの利用者で低所得者世帯の方に対して、利用料金の一部負担を行うことにより利用を支援しました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者（延べ）	8人	12人	12人
月平均	1人	1人	1人

■障がい福祉サービスの実施

（1）居宅介護事業

障害者総合支援法による、身体介護、家事援助などの訪問介護サービスを提供しました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者（延べ）	820人	1,494人	1,593人
月平均	91人	124人	132人
通院介助	0回	47回	55回
月平均	0回	3回	4回

（2）重度訪問介護事業

常時、介護が必要な障がい児・者に対して、継続的なサービスを提供するものですが、サービスの提供はありませんでした。

（3）同行援護

視覚障がい者の方の移動時及びそれに伴う外出先において、必要な移動支援を提供しました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者（延べ）	28人	37人	39人
月平均	3人	3人	3人

■福祉用具の貸与

（1）車椅子の貸し出し

制度、施策、サービスによる車椅子の貸与や支給を受けられない方で、在

宅生活で車椅子が必要な方に対し、無料で貸し出しを行いました。

福祉用具の在庫管理・メンテナンス等を行いました。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸出件数	・車椅子 35件(46台) 内、長期貸出(1年間) 3件(3台)	・車椅子 36件(50台) 内、長期貸出(1年間) 7件(9台) (返却済も含む)	・車椅子 33件(57台) 内、長期貸出(1年間) 6件(7台) ・スロープのみの 貸出 1件

2. 介護予防の取り組み

■介護予防拠点施設の管理・運営

(1) プラザの管理

鏡、弓削、鶺川の3ふれあいプラザを竜王町からの指定管理制度により管理を行いました。

プラザ名	実施日	内 容	
清掃・点検(メンテナンス)			
3施設	随 時	日々の清掃(社協職員)	
	12月	年末大掃除	
	令和6年3月 8日	消防設備点検	
	令和6年3月 15日	カーペット洗浄	
弓削	年4回	除草(シルバー人材センター)4回	
鏡	年4回	除草(シルバー人材センター)4回	
修繕・交換			
鶺川	9月19日 令和6年 3月8日~18日	多目的室照明2か所をLEDに交換 トイレ洋式化改修工事	
弓削	5月26日	正面玄関ガラス (5/1草刈時に破損・シルバー人材センターが弁償)	
	8月29日	多目的室扉の戸車修理	
	12月25日	//	
鏡	5月17日	自動ドア鍵の調整	
	6月28日	//	
その他			
3施設	令和6年1月1日	能登半島地震発生後の目視点検	
	3月29日	消火器交換	
弓削	8月28日	桜の樹の毛虫駆除	
避難訓練			
プラザ名	消防避難訓練	消防避難訓練	地震避難訓練

	第 1 回	第 2 回	
鶺川	10 月 17 日 PM	3 月 27 日 PM	
弓削	10 月 17 日 AM	3 月 22 日 AM	
鏡	10 月 4 日 AM	3 月 12 日 AM	11 月 24 日 AM

(2) プラザの運営

介護予防、地域交流、ボランティアの活動場所として活用されるよう運営を行いました。

コロナウイルス感染拡大により減少していた利用者も徐々に増加してきました。

〈年間総利用人数〉

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
鶺川プラザ	258 回 / 2,852 人	197 回 / 2,174 人	191 回 / 2,087 人
弓削プラザ	138 回 / 2,145 人	161 回 / 2,031 人	123 回 / 1,574 人
鏡プラザ	172 回 / 2,519 人	172 回 / 2,447 人	157 回 / 1,908 人

①生涯現役事業

「いつまでも元気クラブ」(生涯現役事業)の実施

町から介護予防事業として委託を受けている生涯現役事業は、鶺川、弓削、鏡ふれあいプラザやあえんぼクリニック、西山の貸農園を会場に概ね60歳以上の方を対象に多様な活動を開催しました。

令和5年度は、感染症対策を取りながら、健康講座や終活として、「医療・相続・空き家問題」、また認知症講座や介護の集い等これからの自分自身や家族の為に今聞いておきたい講座などを学びました。

〈令和5年度活動別参加者数(プラザ別)〉

	鶺川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ	その他	
令和 5 年度	212 回 / 1,831 人	90 回 / 1,014 人	113 回 / 516 人	16 回 / 150 人	
内 訳	余暇活動	43 回 / 468 人	-	24 回 / 76 人	-
	交流活動	19 回 / 193 人	-	-	-
	運動機能向上	50 回 / 485 人	43 回 / 445 人	27 回 / 108 人	-
	文化活動	36 回 / 243 人	35 回 / 475 人	24 回 / 184 人	-
	自学自習	64 回 / 442 人	12 回 / 94 人	13 回 / 88 人	16 回 / 150 人
	ボランティア活動	-	-	25 回 / 60 人	-
令和 4 年度	158 回 / 1,268 人	111 回 / 925 人	110 回 / 506 人	27 回 / 220 人	
令和 3 年度	150 回 / 1,200 人	84 回 / 724 人	115 回 / 564 人	13 回 / 102 人	
令和 2 年度	132 回 / 1,031 人	70 回 / 604 人	93 回 / 496 人	マスクる活動 81 人	

〈令和5年度の実施状況〉

活動名	実施内容
余暇活動	・ミニ卓球でラリー ・音楽で気分転換 ・健康麻雀
交流支援	・介護の集い ・干支の編みぐるみ ・パソコンで交流 ・えんがわかフェ ・布ぞうりづくり
運動機能向上	・DVD ヨガ体操 ・いきいき健康体操 ・自立体力全国検定 ・ゆったりヨガ ・ミュージック・ケア ・にこにこ体操 ・笑顔で伸ばそう健康寿命 ・気分は太極拳 ・楽しくお散歩リン
文化活動	・パッチワーク ・ミシン講座 ・音読講座 ・折り紙を楽しもう ・ちょっとした幸せを運ぶ寄せ植え
自学自習	・大人の寺子屋「漢字と計算、そろばん、雑学、計算とクイズ」 ・認知症講座 ・脳トレクリエーション ・歯と口腔の健康 ・初めての農園活動 ・整理収納講座 ・パソコンのすすめ ・ウォーキングのすすめ ・気をつけたい生活習慣病 ・高齢者の消費トラブル ・上手な病院との付き合い方 ・自分の家を「負」動産にしないために ・空き家の利活用法を学ぼう ・料理のすすめ ・初めての農園 ・ヘルシー若返りクッキング
ボランティア活動	・日曜大工（注文を受けての製作） ・ミシン講座でペットボトル入れを製作し、一人暮らし配食事業で配布 ・初めての農園活動（土づくりや除草作業） ・プランターに花の苗を植えよう

②いきいき趣味活動

「いきいき趣味活動」（高齢者趣味活動）の実施

高齢者自らが寄り集い、活動を通じて交流を深め合い、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努めました。

〈受託している3プラザでの実績〉

		教室数	延べ開催回数	延べ参加者人数
内 訳	令和5年度	3	36回	273人
	鶺鴒川プラザ	1	12回	142人
	弓削プラザ	1	12回	47人
	鏡プラザ	1	12回	84人
令和4年度		3	37回	252人
令和3年度		3	37回	257人

③こどもひろばの開催

通常の「こどもひろば」では主なイベントを鏡ふれあいプラザで、出張ひろばを弓削ふれあいプラザで開催しました。

「学年別ひろば」を鏡ふれあいプラザで開催しました。

〈こどもひろばの開催〉

開催場所	令和5年度		令和4年度	令和3年度
	開催回数／人数		開催回数／人数	開催回数／人数
弓削ふれあい プラザ (出張ひろば)	31回／818人 (スタッフ・講師等含む)		30回／639人 保護者 297人 子ども 342人	21回／507人 保護者 220人 子ども 287人
鏡ふれあい プラザ	学年別ひろば	こどもひろば	19回／777人 保護者 362人 子ども 415人	8回／367人 保護者 167人 子ども 200人
	24回／786人 (スタッフ・講師等含む)	21回／917人 (スタッフ・講師等含む)		

④自主事業（介護予防は除く）

社協が主催する講習会や交流会等の会場としてふれあいプラザを利用しました。

	鶺川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
令和5年度	19件／102人	2件／85人	－
令和4年度	16件／204人	4件／60人	1件／6人
令和3年度	26件／189人 (内20件／123人は分散業務)	4件／36人	開催なし

(3) 貸館事業

〈貸館事業実績 上段：利用件数 下段：延べ利用人数〉

		鶺川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
令和5年度		14件	3件	3件
		338人	11人	16人
内 訳	竜王町（選挙含む）	1件 7人	－ －	－ －
	町事業委託先事業所	－ －	－ －	－ －
	関係福祉団体	－ －	－ －	－ －
		自治会	8件 179人	－ －
	その他	5件 152人	3件 11人	3件 16人
		令和4年度（自主事業含まない）	27件／460人	7件／80人
令和3年度（自主事業含まない）	6件／301人	1件／17人	0件／0人	